

「市民参加のショー」

裁判員制度反対派が声明

全国初の裁判員裁判の判決から一夜明けた七日、実施を批判する弁護士や文化人らでつくるグループ「裁判員制度はいらぬー大連」が、東京・霞が関の弁護士会館で会見。「市民参加」という名の刑事裁判ショーだ」とする声明を発表した。

声明は「被告は検察官に加え「九人の裁判官」から追及され、適族の被害感情もぶつけられた。判決は事実認定や量刑も検察官の主張に沿い、明らかに重罰化を推し進めるもの」と批判した。今後は、十日から裁

判員裁判第一号が行われるさいたま地裁など、各地の裁判所周辺で抗議デモをする予定という。

メンバーは東京地裁で裁判員裁判が始まった三日、「国民の多くは納得していない。でたらめな制度」として、地裁前で通行人にピロを配布。周辺でデモ行進もした。